

乗合タクシー存続陳情書は不採択に

「乗合タクシーを存続させる会」(代表 薄根地区 野村利二氏、川田地区 原二次男氏) から沼田市議会に提出されていた「乗合タクシーの存続を求める陳情書」は、民生福祉委員会に付託され、8月11日に開催された民生福祉委員協議会で審査され、賛成少数で「不採択」となりました。

井之川博幸委員は、地域に入って実際に利用者の声を聞いた経験から、現在の乗合タクシーの運行に比べて、宇楚井・原・上川田線と奈良・秋塚線を一日おきに運行させるなど、「減便」してもいいから運行は継続してほしいという切実な願いに応じて、運行形態は変わっても存続する必要があるとして、「趣旨採択」を主張しました。他に井土上町の星川嘉一郎委員が趣旨採択を主張しましたが、宇敷和也副委員長、金井康夫委員、大島崇行委員、鈴木圭子委員、牧野保好委員、真下恭嗣委員が不採択を主張し、2対6で「不採択」となりました。



すき間対策は福祉タクシー券で

市当局は、井之川委員の質問に、「バス路線の総合的な検討の中で対応していくが、検討結果は来年度の早い時期にも出したい。すき間対策としては、65歳以上の利用者に限って、福祉タクシー券で対応していきたい」と答えました。すき間対策とは、本年9月末に乗合タクシーが廃止され、バス路線の全体的な検討結果が来年度になる予定で、デマンドバス(予約制バス)などを視野に検討されているが、それが実施されるまでに半年以上の間があいてしまうので、その間に行なう対策のことです。

ひとり暮らし高齢者基礎調査結果

群馬県が実施した6月1日現在における65歳以上のひとり暮らし高齢者の基礎調査の結果です。

沼田市 総数	男	女	計	前年 比較	46人増 2.7%
	445	1283	1728		

旧沼田市管内	男	女	計	前年 比較	36人増 2.5%
	368	1081	1449		
白沢町 振興局	男	女	計	前年 比較	4人増 4.7%
	29	60	89		
利根町 振興局	男	女	計	前年 比較	6人増 3.3%
	48	142	190		

広域型特別養護老人ホーム560床増に

群馬県の緊急経済対策の一環として、第4期計画の中で広域型特別養護老人ホームの増床が560床計画されていると、11日開催された沼田市議会民生福祉委員協議会で高齢福祉課長から報告されました。

条件は、既設の特別養護老人ホームで、1施設20の増床が可能です。1床当たり60万円が補助されます。(20床なら1,200万円)

特別養護老人ホームも入所待機者が多く、なかなか入れない状況です。利根沼田地域では、今年度から50床の新施設が始まりますが、待機者の解消にはまだ施設が絶対的に不足しています。既設の施設の増床だけでなく新規の施設の設置も必要です。自民・公明政権では、社会保障費の毎年2200億円削減に合わせて、施設を増やすと介護費用が増えるとして、施設建設を抑制してきました。家族介護の負担を軽減し、必要な介護を受けるには、施設建設がまだまだ必要です。方向を変えるには、政治を変える必要があります。



柳町 大雨時洪水解消下水道工事始る



大雨が降ると柳町東部から雨水が市道を通り中部地域に押し寄せ、ちぐさ幼稚園入口付近が洪水状態になります。その解消のため途中から雨水下水道で環状線に埋設してある雨水下水道にバイパスを造ります。

2009年8月23日 No.488

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料